

# オンライン生産性向上支援訓練

## ～ 生産性分析と向上 ～

生産性向上支援訓練とは、厚生労働省所管の独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（略称 JEED）が、おもに中小企業を対象に生産性向上に関する課題やニーズに対応した知識・スキルを習得するために、在職者に対して実施する職業訓練です。長野県内は、JEED 長野支部が運営するポリテクセンター長野（長野市吉田）内に設置された「生産性向上人材育成支援センター」が窓口となっています。

今回、AREC が JEED の定める選定基準にもとづき事業取組団体として選定され、ポリテクセンター長野からの業務委託により、会員企業の皆様のために生産性向上支援訓練を実施するものです。

本研修のねらいは、生産方式を理解し、生産性向上のために現状分析と改善活動ができる知識、技能を習得することです。

■配信ソフト：Zoom（配信場所：AREC）

■対象：中堅層

■定員：20名

■受講料：AREC・Fii プラザ会員 1,500 円（税込）／ 非会員 3,300 円（税込）

■講師：株式会社 岩城生産システム研究所 コンサルタント 近藤 修司 氏

■申込締切日：2021 年 11 月 4 日（木）厳守 ※定員になり次第締め切ります。



### カリキュラム概要 <全 3 日間> <全 9 時間>

	日時	テーマ	主な内容
第 1 回	2021 年 11 月 25 日（木） 13:30～16:30	1. 生産方式と生産性	
		1-1. 生産形態、生産方式の分類 ①生産形態の分類と特徴 ②生産方式の分類と特徴 ③企業固有の生産方式	・生産形態の分類と特徴の理解を深める。生産形態と管理のポイントについて ・生産方式の種類と特徴の理解を深める。生産方式の分類と内容、留意点について ・トヨタ生産方式、日産生産方式、キャノン生産方式など企業固有の生産方式の特徴を理解する。
		1-2. 人、もの、時間の管理 ①人の管理 ②ものの管理 ③時間の管理	・人の管理として、要員計画、訓練管理（多能工化訓練）等を理解する。 トヨタの人の見方、HCM について ・ものの管理として、資材・購買・外注在庫・物流管理を理解する。 ・時間の管理として進捗管理を理解する生産の遅れ回復対策、防止対策について
		1-3. 生産計画と生産統制 ①生産計画の種類と流れ ②生産統制の内容	・生産計画の種類とその流れを理解する。 ・生産統制は何をするのかを理解する。
第 2 回	2021 年 12 月 2 日（木） 13:30～16:30	2. 現状分析と効率化	
		2-1. 現状分析方法 ①工程分析の手順 ②IE 研究	・工程分析の手順とポイントを理解する。 作業管理による標準時間の設定と遵守について ・IE 研究の内容とポイントを理解する。
		2-2. 生産設計の方法と留意点 ①生産設計の目的、あるべき姿 ②生産設計の留意点	・生産設計の目的とあるべき姿を理解する。作り易さを反映した生産設計について ・生産設計での確認項目や視点を理解する。
		2-3. 工場レイアウトの考え方 ①生産方式とレイアウト ②ものの移動とレイアウト改善	・生産方式とレイアウトの関係について理解する。 ・運搬の原則とレイアウト改善について理解する。 レイアウト改善の流れと SLP について
		3. 改善活動	
		3-1. ムダ（問題点）の見方 ①ムダとは何か（トヨタの 7 つのムダ） ②ムダの見方	・ムダとは何かについて理解する。なぜトヨタは 7 つにムダを分類したか。 ・ムダを見るときは何か。その方法について。
【第 2 回目課題】10 分間現場でムダを見つけ写真撮影する。			
第 3 回	2021 年 12 月 9 日（木） 13:30～16:30	3. 改善活動【つづき】	
		3-2. 改善の基本的な考え方と効果的なやり方 ①改善の基本的な考え方 ②改善の効果的なやり方 ・科学的アプローチ	・改善とは何か。その考え方と心構えを理解する。問題解決の 4 つの方法について ・効果的な改善のための手順を理解する。科学的アプローチについて
		3-3. 改善案出しのための着想の得方 ①着想（アイデア）の出し方 ・ブレインストーミングなど	・改善案を作るための着想（アイデア）の出し方を理解する。 ブレインストーミング、動作経済の原則について
		【演習・グループワーク】ムダに対する改善案を作り発表する。（最低 1 件）	

申込先：一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター 事務局

E-mail：[mousikomi@arecplaza.jp](mailto:mousikomi@arecplaza.jp) / FAX：0268-21-4382

## オンライン生産性向上支援訓練（生産性分析と向上）申込書

企業名		申込担当者	部署・役職 氏名 連絡先	
企業規模：A/1～29人 B/30～99人 C/100～299人 D/300～499人 E/500～999人 F/1000人～				
業種：01 建設業 02 製造業 03 運輸業 04 卸売・小売業 05 サービス業 06 その他				
所在地	〒 長野県 E-mail	電話( )	—	
		FAX( )	—	
受講者氏名	ふりがな	性別	年齢	就業区分※
				正社員 非正規雇用 その他
E-mail：				
				正社員 非正規雇用 その他
E-mail：				
				正社員 非正規雇用 その他
E-mail：				
				正社員 非正規雇用 その他
E-mail：				

※受講者の方の就業状況（正社員、非正規雇用、その他）を入力又は記載してください。なお、非正規雇用とは、パート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。

**注）必ずお読みください。**

- 申込書に記載された情報は「生産性向上支援訓練」の目的以外には使用しません。
- この研修は10時間未満ですので、「人材開発支援助成金」の対象にはなりません。

### 同時双方向通信による生産性向上支援訓練利用規約について

訓練の受講にあたっては、「同時双方向通信による生産性向上支援訓練利用規約」を事前にご確認ください。（となりのQRコードからご覧いただけます。）

同時双方向通信による生産性向上支援訓練利用規約に同意します。

※必ず同時双方向通信による生産性向上支援訓練利用規約をお読みください。

※同意される場合は、□にレをご記入ください。

